

Ⅶ MA米（一般・SBS）の動向

（１） MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：千玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	－	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	－	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	－	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度 (2月1日現在)	249	223	55	9	2	538	496	42

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」
※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。
2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。
3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

(2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成30年度)

(単位: 実トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成30年4～6月分	28,998	平成30年4～7月分	2,745
4月分	561	平成30年8～11月分	2,951
5月分	1,361	平成30年12～平成31年3月分	
6月分	699		
7～9月分	27,412		
7月分	107		
8月分	339		
9月分	684		
10～12月分	27,082		
10月分	594		
11月分	585		
12月分	1,013		
平成31年1～3月分			
1月分			
2月分			
3月分			
小 計	89,435	小 計	5,696
合計	95,131		

資料: 農林水産省「加工原材料用に係る政府所有 ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

(3) SBS輸入米の見積合わせ結果(平成30年度)

(単位: 実トン)

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (平成30年9月26日)	一般米	1,540	200	204								1,944
	砕精米	516	140	500								1,156
第2回 (平成30年10月26日)	一般米	2,310	212	514				100		137		3,273
	砕精米	700	200			200						1,100
第3回 (平成30年11月30日)	一般米	2,244		998	90			4,708		423		8,463
	砕精米	2,300		200								2,500
第4回 (平成30年12月19日)	一般米	1,176	160	676				1,800		692		4,504
	砕精米	1,900		200		300				100		2,500
第5回 (平成31年1月16日)	一般米	980	780	924				1,720		725		5,129
	砕精米	2,180	100	600		120						3,000
第6回 (平成31年2月1日)	一般米	3,304	900	432		174		615		80		5,505
	砕精米	2,600	300	100								3,000
合計	一般米	11,554	2,252	3,748	90	174	0	8,943	0	2,057	0	28,818
	砕精米	10,196	740	1,600	0	620	0	0	0	100	0	13,256
平成25年度計 (参考)	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,227	0	766	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	9,017	0	1,896	0	20,100
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	559	0	767	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	0	0	100	0	4,316
平成27年度計 (参考)	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	1,285	0	959	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	0	0	150	0	16,452
平成28年度計 (参考)	一般米	27,318	3,600	3,487	108	2,156	0	6,861	0	1,236	0	44,766
	砕精米	24,820	700	2,300	388	240	0	0	0	100	0	28,548
平成29年度計 (参考)	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137

資料: 農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成25～30年度

VIII その他

(1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果

- 平成30年産水稻うるち玄米の平成30年12月31日現在の検査数量は、396万トン。
- 1等米比率は、81.0%。

① 検査数量の推移（累計）

単位：千トン

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
25	23	265	1 869	3,806	4,248	4,433	4,537	4,661	4,793	5,206
26	12	229	1 789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
27	11	220	1 537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385	4,518	4,869
28	18	231	1 656	3,564	4,036	4,212	4,319	4,451	4,585	4,929
29	13	244	1 463	3,268	3,851	4,062	4,163	4,279	4,409	4,764
参考：前年比	72%	105%	88%	92%	95%	96%	98%	98%	96%	97%
30	21	297	1 446	3,328	3,782	3,962				
参考：前年比	159%	122%	99%	102%	98%	98%				

注：1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

② 検査数量及び等級比率（年産別）

単位：トン、%

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,206,717	4,112,147	906,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27	4,868,582	4,016,682	687,771	82,654	81,475	82.5	14.1	1.7	1.7
28	4,928,745	4,110,565	668,746	67,438	81,995	83.4	13.6	1.4	1.7
29	4,763,550	3,919,530	676,990	74,247	92,784	82.3	14.2	1.6	1.9
30(注3)	3,961,689	3,208,393	626,460	72,833	54,003	81.0	15.8	1.8	1.4

資料：農林水産省とりまとめ

注：1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 29年産米までは、生産年の翌年10月31日現在（確定値）。

3 30年産米については、平成30年12月31日現在（速報値）。

(2) 平成30年産水陸稲の収穫量

(平成30年12月10日公表)

水稲の収穫量（主食用）は732 万7,000t

調査結果の概要

- 1 平成30年産水稲の作付面積（子実用）は147万haで、うち主食用作付面積は138万6,000haとなった。
- 2 全国の10 a 当たり収量は529kg（1.70mmのふるい目幅ベース。10 a 当たり
平年収量532kg。）となり、前年産に比べ5 kgの減少が見込まれる。
- 3 以上の結果、収穫量（子実用）は778万 tで、うち主食用の収穫量は732
 万7,000 tが見込まれる。
- 4 なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の10 a 当たり収量は511kg（10 a 当たり平年収量519kg）となり、作況指数は98となる見込み。
- 5 平成30年産陸稲の作付面積（子実用）は750haで、10 a 当たり収量は232kg（10 a 当たり平均収量対比100%）となり、収穫量（子実用）は1,740 tとなった。

平成30年産水稲の作付面積及び収穫量

全 国 農 業 地 域	作付面積（子実用）			10 a 当たり収量		収穫量（子実用）			参 考		
	実数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産 との比較 対 差	実数 ③=①×②	前年産との比較 対 差	対 比	主食用 作付面積 ④	収 穫 量 （主食用） ⑤=④×②	作況指数
		対 差	対 比								
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,470,000	5,000	100	529	△ 5	7,780,000	△ 42,000	99	1,386,000	7,327,000	98
北 海 道	104,000	100	100	495	△ 65	514,800	△ 67,000	88	98,900	489,600	90
東 北	379,100	4,300	101	564	0	2,137,000	22,000	101	345,500	1,947,000	99
北 陸	205,600	1,500	101	533	4	1,096,000	17,000	102	184,800	985,300	98
関東・東山	270,300	1,800	101	539	6	1,457,000	26,000	102	259,300	1,398,000	100
東 海	93,400	1,000	101	495	△ 3	462,400	2,300	100	91,000	450,600	98
近 畿	103,100	△	100	502	△ 8	517,500	△ 9,100	98	99,500	498,700	98
中 国	103,700	△ 600	99	519	△ 11	537,800	△ 14,600	97	101,100	524,200	101
四 国	49,300	△ 600	99	473	△ 13	233,400	△ 9,000	96	49,000	232,000	98
九 州	160,400	△ 2,700	98	512	2	821,300	△ 10,600	99	156,100	800,000	102
沖 縄	716	△ 11	98	308	7	2,210	20	101	716	2,210	100

注：1 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3 作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

ふるい目幅別重量分布状況の推移

単位：%

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成25年産	100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
27	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30(概数値)	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
平均 値	100.0	0.8	1.4	1.9	2.7	14.9	78.3
対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.2	0.4	0.6	2.7	△ 4.0

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

2 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(子実用)の推移

年 産		単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
平成25年産	10a 当たり収量	kg	539	535	528	517	503	425
	収穫量(子実用)	t	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26	10a 当たり収量	kg	536	532	524	513	499	420
	収穫量(子実用)	t	8,435,000	8,368,000	8,249,000	8,081,000	7,853,000	6,613,000
27	10a 当たり収量	kg	531	527	519	509	494	413
	収穫量(子実用)	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
28	10a 当たり収量	kg	544	540	534	524	511	435
	収穫量(子実用)	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29	10a 当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量(子実用)	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30 (概数値)	10a 当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量(子実用)	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
対前年比		%	99	99	99	99	99	97

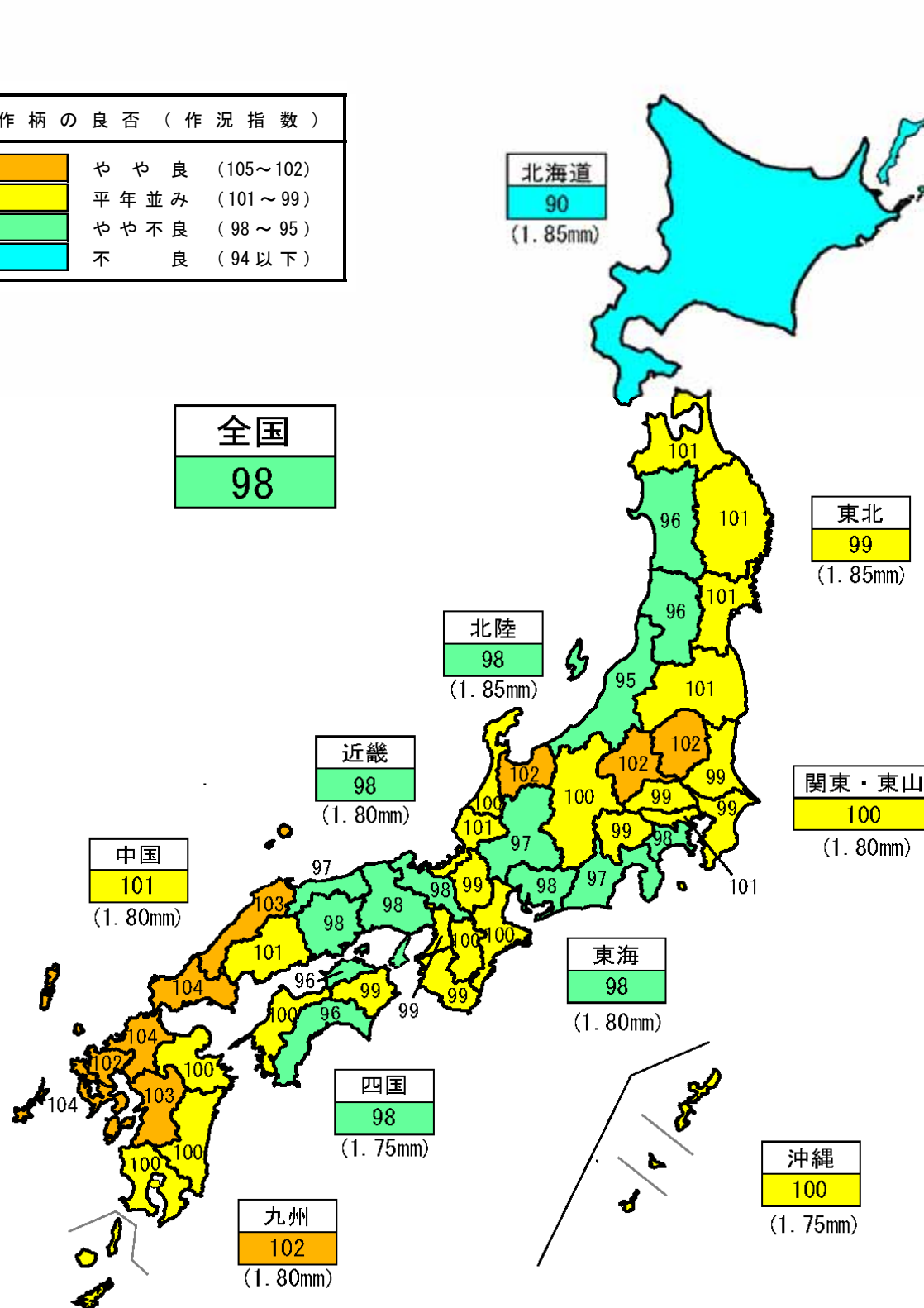
注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、全国の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

「平成30年産水陸稲の収穫量」は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

全国農業地域・都道府県別作況指数 【農家等が使用しているふるい目幅ベース】

作柄の良否（作況指数）	
	やや良（105～102）
	平年並み（101～99）
	やや不良（98～95）
	不良（94以下）



注：1 作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85 mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80 mm、四国及び沖縄は1.75 mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

平成30年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 都道府県			作付面積（子実用）			10 a 当たり 収 量 ②	（参考）農家等が使用している ふるい目幅で選別		
							実 数 ①	前年産との比較	
			対差	対比					
			ha	ha	%	kg	kg	kg	
全 国 (1)			1, 470, 000	5, 000	100	529	511	519	98
北 海 道 (2)			104, 000	100	100	495	480	532	90
青 森 (3)			44, 200	800	102	596	577	573	101
岩 手 (4)			50, 300	500	101	543	526	522	101
宮 城 (5)			67, 400	1, 100	102	551	527	520	101
秋 田 (6)			87, 700	800	101	560	533	554	96
山 形 (7)			64, 500	0	100	580	556	580	96
福 島 (8)			64, 900	900	101	561	535	528	101
茨 城 (9)			68, 400	300	100	524	508	515	99
栃 木 (10)			58, 500	900	102	550	537	528	102
群 馬 (11)			15, 600	100	101	506	489	479	102
埼 玉 (12)			31, 900	300	101	487	471	476	99
千 葉 (13)			55, 600	400	101	542	525	530	99
東 京 (14)			133	△ 8	94	417	410	404	101
神 奈 川 (15)			3, 080	△ 10	100	492	470	479	98
新 潟 (16)			118, 200	1, 900	102	531	500	527	95
富 山 (17)			37, 300	△ 300	99	552	535	527	102
石 川 (18)			25, 100	△ 200	99	519	507	506	100
福 井 (19)			25, 000	100	100	530	503	500	101
山 梨 (20)			4, 900	△ 60	99	542	526	533	99
長 野 (21)			32, 200	△ 100	100	618	607	607	100
岐 阜 (22)			22, 500	600	103	478	465	478	97
静 岡 (23)			15, 800	100	101	506	496	513	97
愛 知 (24)			27, 600	100	100	499	489	499	98
三 重 (25)			27, 500	100	100	499	489	489	100
滋 賀 (26)			31, 700	0	100	512	501	506	99
京 都 (27)			14, 500	△ 200	99	502	491	501	98
大 阪 (28)			5, 010	△ 140	97	494	475	480	99
兵 庫 (29)			37, 000	400	101	492	479	490	98
奈 良 (30)			8, 580	△ 30	100	514	499	500	100
和 歌 山 (31)			6, 430	△ 130	98	492	479	484	99
鳥 取 (32)			12, 800	200	102	498	488	504	97
島 根 (33)			17, 500	0	100	524	515	502	103
岡 山 (34)			30, 200	100	100	517	504	514	98
広 島 (35)			23, 400	△ 300	99	525	517	513	101
山 口 (36)			19, 800	△ 500	98	522	513	492	104
徳 島 (37)			11, 400	△ 100	99	470	466	469	99
早期栽培 (38)			4, 400	△ 50	99	466	463	459	101
普通栽培 (39)			7, 000	△ 80	99	474	470	475	99
香 川 (40)			12, 500	△ 300	98	479	470	491	96
愛 媛 (41)			13, 900	0	100	498	492	493	100
高 知 (42)			11, 500	△ 100	99	441	437	454	96
早期栽培 (43)			6, 470	△ 30	100	465	462	475	97
普通栽培 (44)			5, 000	△ 60	99	411	407	425	96
福 岡 (45)			35, 300	△ 400	99	518	497	478	104
佐 賀 (46)			24, 300	△ 300	99	532	514	503	102
長 崎 (47)			11, 500	△ 100	99	499	483	463	104
熊 本 (48)			33, 300	0	100	529	510	497	103
大 分 (49)			20, 700	△ 300	99	501	478	480	100
宮 崎 (50)			16, 100	△ 200	99	493	480	482	100
早期栽培 (51)			6, 410	△ 50	99	476	469	469	100
普通栽培 (52)			9, 670	△ 200	98	505	487	490	99
鹿 児 島 (53)			19, 200	△ 1, 200	94	481	468	469	100
早期栽培 (54)			4, 340	△ 120	97	450	439	435	101
普通栽培 (55)			14, 800	△ 1, 200	93	490	477	479	100
沖 縄 (56)			716	△ 11	98	308	305	306	100
第一期稲 (57)			527	△ 10	98	364	362	358	101
第二期稲 (58)			189	△ 1	99	151	145	160	91

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 3 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

収穫量（子実用）				参 考		
実 数 ⑥＝①×②	前年産との比較			主 食 用 作付面積 ⑦	収 穫 量 （主食用） ⑧＝⑦×②	
	対差		対比			
t		t	%	ha	t	
7,780,000	△	42,000	99	1,386,000	7,327,000	(1)
514,800	△	67,000	88	98,900	489,600	(2)
263,400		4,700	102	39,600	236,000	(3)
273,100		7,700	103	48,800	265,000	(4)
371,400		16,700	105	64,500	355,400	(5)
491,100	△	7,700	98	75,000	420,000	(6)
374,100	△	11,600	97	56,400	327,100	(7)
364,100		12,700	104	61,200	343,300	(8)
358,400		900	100	66,800	350,000	(9)
321,800		28,000	110	54,700	300,900	(10)
78,900		1,600	102	13,700	69,300	(11)
155,400	△	700	100	30,800	150,000	(12)
301,400		1,700	101	53,900	292,100	(13)
555	△	25	96	133	555	(14)
15,200	△	500	97	3,080	15,200	(15)
627,600		15,900	103	104,700	556,000	(16)
205,900		600	100	33,300	183,800	(17)
130,300	△	1,000	99	23,200	120,400	(18)
132,500		1,800	101	23,600	125,100	(19)
26,600	△	600	98	4,820	26,100	(20)
199,000	△	4,200	98	31,300	193,400	(21)
107,600		700	101	21,500	102,800	(22)
79,900	△	1,000	99	15,700	79,400	(23)
137,700	△	3,100	98	26,700	133,200	(24)
137,200		5,700	104	27,100	135,200	(25)
162,300	△	1,600	99	30,100	154,100	(26)
72,800	△	2,200	97	13,900	69,800	(27)
24,700	△	1,400	95	5,000	24,700	(28)
182,000	△	1,400	99	35,500	174,700	(29)
44,100	△	800	98	8,530	43,800	(30)
31,600	△	1,700	95	6,430	31,600	(31)
63,700	△	1,800	97	12,700	63,200	(32)
91,700		900	101	17,200	90,100	(33)
156,100	△	7,600	95	29,400	152,000	(34)
122,900	△	3,700	97	22,900	120,200	(35)
103,400	△	2,400	98	18,900	98,700	(36)
53,600	△	1,600	97	11,200	52,600	(37)
20,500	△	900	96	...	...	(38)
33,200	△	700	98	...	...	(39)
59,900	△	2,100	97	12,500	59,900	(40)
69,200	△	1,400	98	13,900	69,200	(41)
50,700	△	3,900	93	11,400	50,300	(42)
30,100	△	2,300	93	...	...	(43)
20,600	△	1,400	94	...	...	(44)
182,900		1,200	101	34,900	180,800	(45)
129,300	△	1,300	99	24,000	127,700	(46)
57,400		0	100	11,400	56,900	(47)
176,200		700	100	32,300	170,900	(48)
103,700	△	2,600	98	20,600	103,200	(49)
79,400	△	1,900	98	14,700	72,500	(50)
30,500	△	1,400	96	...	...	(51)
48,800	△	800	98	...	...	(52)
92,400	△	6,700	93	18,300	88,000	(53)
19,500	△	1,600	92	...	...	(54)
72,500	△	5,900	92	...	...	(55)
2,210		20	101	716	2,210	(56)
1,920		20	101	...	...	(57)
285	△	2	99	...	...	(58)

4 （参考）の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a 当たり収量、④10a 当たり平年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

これまで、本資料に掲載していた以下の情報については、別冊「資料編」に掲載いたしました。

(別冊)「資料編」の目次

Ⅰ 契約・在庫情報	
(1) 平成28・29年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成29年7月末から30年6月末) (速報)	1
(2) 産地別事前契約数量 (累計、うるち米、平成26～29年産)	9
(3) 平成28・29年産米の産地別契約・販売状況 (累計、うるち米)	11
Ⅱ 米の価格情報	
(1) 米の相対取引価格の推移 (通年平均価格)	25
(2) 業者間取引の状況	28
① 日本コメ市場 (随時取引の結果)	
② 日本コメ市場・クリスタルライス (取引会の結果)	
③ (株)加工用米取引センターの取引結果	
④ 米の現物市場の状況	
Ⅲ 主食用米以外 (輸出を含む)	
(1) 加工用米及び新規需要米等の生産状況	31
① 加工用米の生産量 (平成17～30年産)	
② 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移 (平成20～30年産)	
③ 平成30年産 都道府県別の生産状況	
(2) 飼料用米のマッチングの取組状況、	33
配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	
(3) 政府備蓄米の運営	34
備蓄米の買入入札の結果 (落札実績) (平成23～30年産)	
(4) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移	35
(5) 2018年の主な増加要因 (輸出業者等からのヒアリング結果による)	36
(6) 米菓の輸出数量及び金額の推移	37
(7) 日本酒 (清酒) の輸出数量及び金額の推移	38
Ⅳ 消費動向	
(1) 米の消費動向 (米穀機構による調査)	39
(2) 小売価格の推移 (POSデータ、主な銘柄)	42
Ⅴ その他	
(1) 米取引関係者の判断 (米穀機構による調査、平成31年1月分)	43
(2) 平成29年産水陸稲の収穫量	48
(3) 水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移 (全国)	51
(4) 水稲玄米のふり目幅別重量分布状況、	51
10a 当たり収量及び収穫量 (子実用) の年次別推移 (全国)	
(5) 年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移	54
(6) 麦・大豆の需要情報	56
① 31年産麦の産地別銘柄別入札結果	
② 30年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
(7) 野菜等の需給情報	62
(8) 米の安定取引研究会報告書の概要	66

○「米に関するマンスリーレポート」を更にご活用いただくため、読み解き方などを解説した特集ページ「米に関するマンスリーレポート解説特集「ここが分からない！マンレポ」」を開設しました！

http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中！ご登録お待ちしております！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

このサイトでは、

●皆さんがごはんをもっと好きになる、 ●もっと食べたくなる、
そんな情報をお届けします。

主な掲載内容

“ごはん食”に関する情報

- ごはんお替わり、大盛り無料のお店

農林水産省 × 食べログ



- 旅先グルメごはん

農林水産省 × ぐるなび



- 日本全国ごはんの恋人たち



米の消費拡大に取り組む企業等の企画に関する情報



各企業等の消費拡大の取組やアイデアをご紹介します

掲載企業は
絶賛募集中です！

業界団体等が取り組んでいる米の消費拡大に関する情報

ごはん健康

- お米と健康
- ごはんを中心とした日本型食生活のススメ
- ごはん彩々（全米販）
- 3・1・2弁当箱法
- 早寝早起き朝ごはん全国協議会

ごはんレシピ等

- 和食文化推進協議会
- コメレシピ
- 妊婦さんのためのレシピ紹介
- 農林水産省の公式キッチン（クックパッド）
- お米を使った料理・朝ごはんネット
- 6月30日は夏越ごはん

上記のほか、業界団体等によるイベント開催情報なども掲載しております

詳しくはこちらをアクセス！

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/gohan.html>

やっぱりごはんでしょ！ 検索



最近の掲載情報

やっぱりごはんでしょ！



新着情報

・おにぎりダイエット＋ウォーク(全農)

全農が「おにぎりによるカロリーコントロール」と、誰でも手軽に実践できる「ウォーキング」を組み合わせた新たなダイエットプログラム「おにぎりダイエット＋ウォーク」を紹介。



企業における消費拡大への取組

・永谷園 & お茶づけfamilyによる「お茶づけランチ」(食育情報)

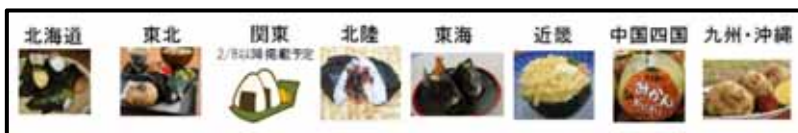
米の消費拡大に熱い気持ちをもった『(株)永谷園 & お茶づけfamily』と東海大学がタイアップして行ったイベント情報です。



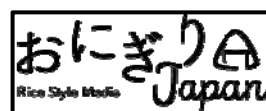
特集情報:おむすび(おにぎり)



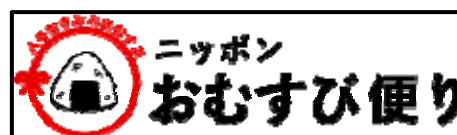
農水省職員が見つけた
町のおにぎり屋さんの紹介



おにぎり協会がオススメする全国の「おにぎり屋さん」や
「ご当地おにぎりのレシピ」の紹介



FMTOKYOなど、JFS全国38局から寄せられた
ご当地食材のおむすびを紹介。



受験生応援企画「合格よろこんぶおにぎり」レシピの紹介



「お米の輸出動画」 配信中！

お米の新しい市場を開拓！ 「日本のお米の輸出」について

お米の輸出の可能性や農水省の輸出促進の取組について解説した動画を配信中！

「どうして今、お米を輸出するの？」「今、生産者や事業者の人はどんなことに取り組んでいるの？」という疑問にお答えします！



Youtube・農林水産省ホームページで公開中です！
(詳しくは裏面をご覧ください)

以下のQRコードからもご覧頂けます

1分ダイジェスト版はこちら→



<https://youtu.be/B1VsP2ER4OM>

本編(14分)はこちら→



https://youtu.be/zV8dkRH_6T0

本動画は、お米の輸出の概況や輸出拡大に向けた国の取組について解説します。

また、生産者や事業者の方に、海外向けのお米の生産・販売における具体的な取組内容をご紹介します！

本編の内容について1分程度でまとめたダイジェスト版も公開しておりますので、ぜひご覧下さい！

Youtubeから見る

Youtubeの検索バナーで「お米の輸出」と検索！

お米の輸出

×



(URLはこちら)

本編：https://www.youtube.com/watch?v=zV8dkRH_6T0

ダイジェスト版：<https://www.youtube.com/watch?v=B1VsP2ER4OM>

農林水産省HPから見る

トップページの「キーワード」にある「米の輸出」をクリック！

(ホーム > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の輸出について)

農林水産省

English キッズサイト サイトマップ 文字サイズ 標準 大きく

会見・報道・広報 政策情報 統計情報 申請・お問い合わせ 農林水産省について

逆引き事典から探す 組織別から探す キーワードから探す Google カスタム検索 検索

注目情報

- 豚コレラの発生
- 農林水産関係予算の概要について
- 平成30年北海道胆振東部地震に関する情報
- 平成30年

キーワード

- 農業競争力強化支援法
- SDGs
- 「まるみえアグリ」
- 農業技術総合ポータル
- 収入保険制度
- 米政策改革
- 米の輸出
- 輸出促進/GFP (外部リンク)
- 経営所得安定対策
- 農地中間管理機構
- 6次産業
- 和食
- 農業女子
- ディスカバー農山漁村(むら)の宝
- 食育
- GAP-info
- プラスナット
- スマート農業
- G20新潟農業大臣会合

キーワードの「米の輸出」をクリックすると
「米の輸出について」のページに移動します！

URL：http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html

お問合せ先：農林水産省政策統括官付農産企画課
(TEL：03-6738-8964)